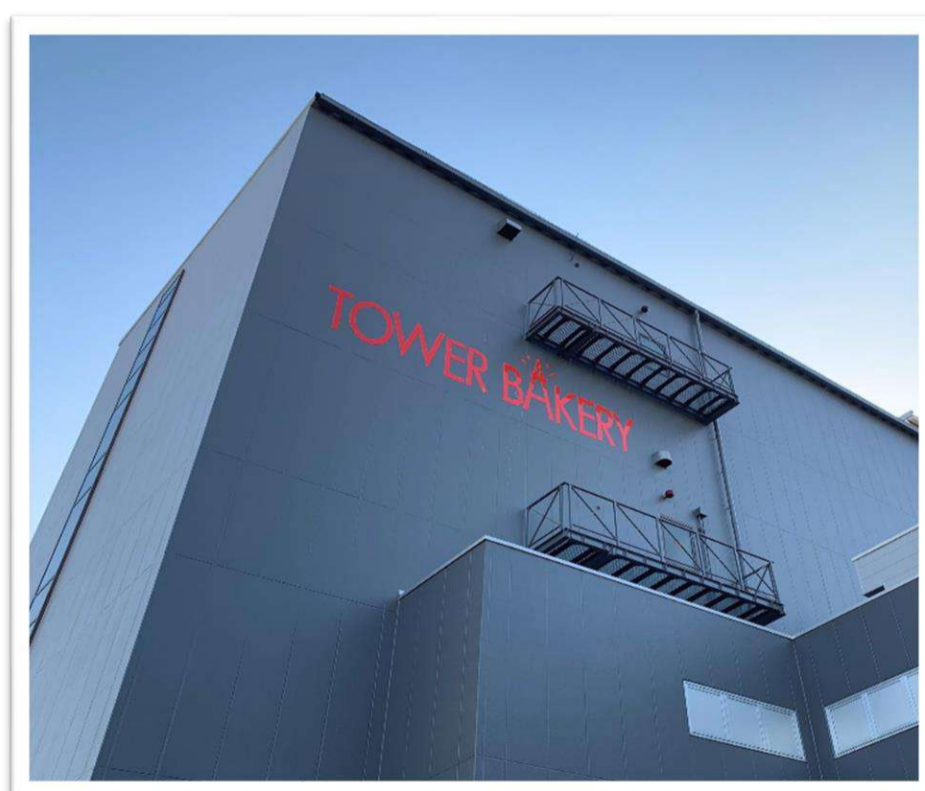


# TOWER BAKERY

## タワーベーカリー株式会社

### 2022 年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年4月1日 ~ 2023 年3月31日)



タワーベーカリー株式会社  
本社・越谷工場



発行日： 2023年12月4日

## 目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
外部からの環境上の苦情・要請等	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12

# TOWER BAKERY

安心・安全な  
パンをお客様へ

## 環境経営方針

### <基本理念>

タワーベーカリー株式会社は昭和産業グループ経営理念である「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」のもと、パン製造事業と関連するESG視点での社会的課題解決の取組みを推進します。

### <基本方針>

1. 企業活動について環境負荷の自己チェックを行い、重要な項目に関しては、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標を設定するとともにこれらを見直して継続的改善を図ります。
2. 環境関連の法規則・協定等を遵守します。
3. 環境への負担をできる限り少なくし、循環を基とする企業活動を目指します。
  - ① 二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
  - ② 食品ロス・廃棄物の削減及び3R活動の推進に努めます。
  - ③ 5S・現場改善を日々行い、効率的な・環境負荷の少ないプロセスの向上を推進します。
  - ④ 節水に努めます。
4. 全従業員に、計画的に環境教育を実施し、環境経営方針の周知徹底を図ります。
5. 環境保全活動に積極的に参加し、地域の環境改善に貢献します。

制定日：2022年4月10日

代表取締役社長 佐藤 誠

## □組織の概要

更新日：2023年9月7日

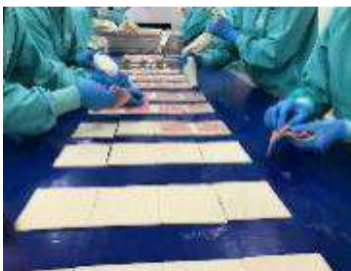
- (1) 名称及び代表者名  
タワーベーカリー株式会社  
代表取締役社長 佐藤 誠
- (2) 所在地  
本社・越谷工場 埼玉県越谷市西方2986-2
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 工場長 山名 慎吾 TEL:048-985-7070(代表)  
担当者 設備保全課課長 米本拓也 TEL:048-985-7136(設備保全部直通)
- (4) 事業内容  
パン及び冷凍生地の製造・販売
- (5) 事業の規模  
売上高 70 億円
- |       |                |                      |
|-------|----------------|----------------------|
|       |                | 本社・越谷工場              |
| 従業員   | 名              | 504 名                |
| 延べ床面積 | m <sup>2</sup> | 13200 m <sup>2</sup> |
- (6) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

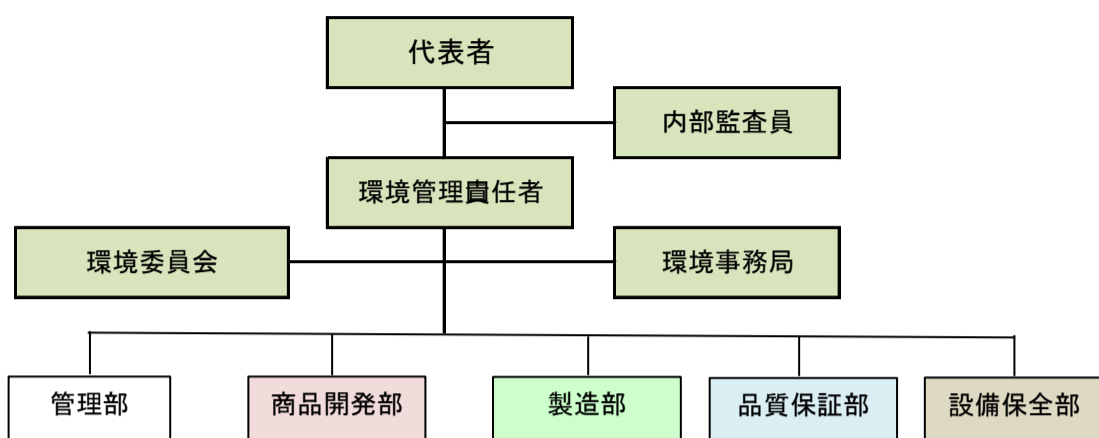
## □認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： タワーベーカリー株式会社  
対象事業所： 本社・越谷工場  
対象外： なし  
活動： パン及び冷凍生地の製造・販売

## □事業や製品(商品)の紹介

- 製造品目 菓子パン・総菜パン・食事パン・ドーナツ・冷凍生地の製造  
販売エリア 埼玉県・東京都・神奈川県(株)セブン-イレブン・ジャパンのお店様  
生産量 パン・ドーナツ 1日約150,000食  
冷凍生地 1日約260,000食





代表者	: 佐藤	管理部	責任者: 立原、推進者: 黒田
内部監査員	: 塚田、岸野、立原、村岡	商品開発部	責任者: 松野、推進者: 堀井
環境管理責任者	: 山名	製造部	責任者: 山名、星野、 筑後、小美濃
環境事務局 局員	: 米本、天川、黒田、金井		推進者: 山田、保坂、岸、須崎
		品質保証部	責任者: 村岡、推進者: 古田
		設備保全部	責任者: 米本、推進者: 天川

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、サステナビリティ委員会(環境委員会)の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長 工場長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する内部監査の計画</li> <li>環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

資格取得者在籍数

- ・ エネルギー管理士: 1名
- ・ 第三種冷凍機械責任者: 6名
- ・ 冷媒フロン類取扱知見者講習終了: 6名
- ・ 第一種衛生管理者: 3名
- ・ 乙種第4類危険物取扱者: 2名



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	7,623,059	7,087,765	7,110,710	6,491,229
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	4,800	9,760	9,020	9,070
産業廃棄物排出量	kg	1,953,133	1,704,079	1,735,442	1,601,704
内、食品廃棄物					
発生量		855,860	700,946	756,676	663,820
発生抑制量		1,074,100	1,063,500	1,048,800	1,209,700
再生利用量		855,860	700,946	756,676	663,820
熱回収量	kg	0	0	0	0
減量量		0	0	0	0
再生利用以外の量		0	0	0	0
廃棄物処理量		0	0	0	0
食品再資源化実施率		100%	100%	100%	100%
水使用量	m <sup>3</sup>	91,208	79,524	75,165	70,987

※二酸化炭素排出係数 0.455 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後の係数(2019年)  
 0.455 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後の係数(2020年)  
 0.441 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後の係数(2021年4月)  
 0.473 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (株)シナジアパワーの調整後の係数(2021年5月以降)  
 0.441 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後の係数(2022年5月)

※一般廃棄物排出量 2019年9月より実施

□環境経営目標及びその実績

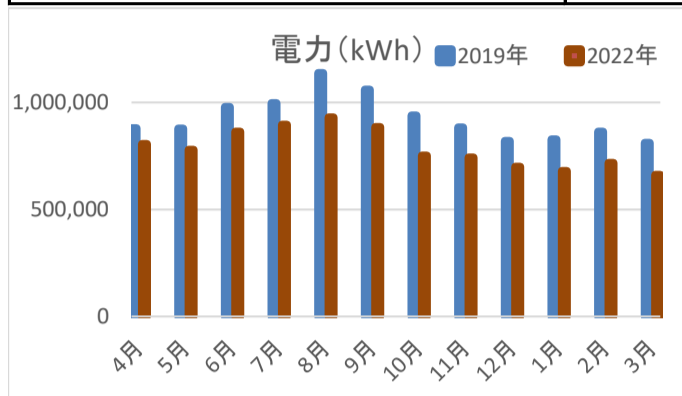
項目	年度	2019年		2022年		評価	2023年	2024年
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)		(目標)	
電力による 二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	5,040,650	4,839,024	4,152,288	○	4,788,618	4,738,211	
	基準年度比	2019年	96%	82%		95%	94%	
	原単位 tCO <sub>2</sub> /百万円	0.627	0.607	0.599		0.596	0.590	
都市ガスによる 二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	2,579,554	2,502,167	2,335,835	○	2,476,372	2,450,576	
	基準年度比	2019年	97%	91%		96%	95%	
	原単位 tCO <sub>2</sub> /百万円	0.321	0.311	0.337	×	0.308	0.305	
自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	2,855	2,769	3,105	×	2,741	2,712	
	基準年度比	2019年	97%	109%		96%	95%	
	原単位 kg-CO <sub>2</sub> /百万円	0.355	0.345	0.448	×	0.341	0.337	
二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	7,623,059	7,343,961	6,491,229		7,267,730	7,191,499	
廃棄物総排出量の削減	kg	1,976,083	1,817,996	1,610,774	○	1,798,236	1,778,475	
	基準年度比	2019年	92%	82%		91%	90%	
	原単位 kg/百万円	245.858	226.180	232.267	×	223.731	221.272	
食品廃棄物の削減	kg	856,060	787,575	663,820	○	779,015	770,454	
	基準年度比	2019年	92%	78%		91%	90%	
	kg/百万円	106.508		95.720		96.923	95.857	
食品廃棄物	リサイクル率	100%	100%	100%	○	100%	100%	
水道水の削減	m <sup>3</sup>	97,006	82,455	74,886	○	81,485	80,515	
	基準年度比	2019年	85%	76%		84%	83%	
	原単位 m <sup>3</sup> /百万円	12.069	10.255	10.798	×	10.138	10.017	
化学物質の適正管理						<ul style="list-style-type: none"> <li>PRTRを含む物質の適正管理</li> <li>代替物質の検討</li> </ul>		
自らが生産販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善						<ul style="list-style-type: none"> <li>油分離機導入による惣菜揚げ油の廃棄削減。</li> <li>グループ会社で冷凍生地を集中生産。</li> </ul>		

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	環境への影響を考慮し、電気事業者の切替えを行った。コンプレッサーの圧力設定変更、巡回による不要な電気を止める取組みを会社全体で行った。年間を通じて電力による累計CO2排出量の目標値をクリアすることができた。引続き巡回や設備更新を行いCO2排出量削減を目指す。
・エアコンフィルター清掃	○	
・不要照明の消灯	○	
・省エネ巡回(温度設定・エアー漏れ・漏電の確認)(設備保全)	○	



取組紹介欄

コンプレッサー圧力の設定変更

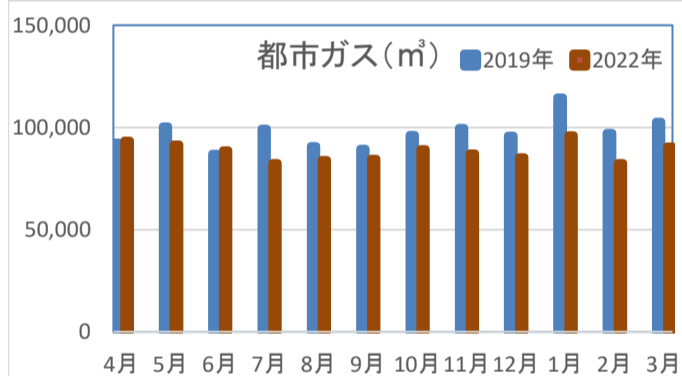


不要照明の消灯  
省エネ巡回およびミーティングによる周知。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	880,188	878,508	978,696	997,290	1,137,636	1,059,756	939,210	884,028	820,878	827,394	863,706	811,062	11,078,352
2022年	806,514	779,748	864,246	896,898	930,186	886,014	751,716	743,328	699,168	679,062	717,690	661,050	9,415,620

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	業務の見直しを行った結果、屋外湯煎設備およびホース煮沸洗浄設備の使用を停止・設備撤去、巡回による蒸気漏れ確認および対応を行った。年末年始・GW期間にオープンガス停止を実施。年間を通じてガスによる累計CO2排出量の目標値をクリアすることができた。引続き巡回や設備停止を行いCO2排出量削減を目指す。
・閑散期オープン停止	○	
・省エネ巡回(温度設定・燃焼の確認)設備保全	○	
・屋外 湯煎停止・設備撤去設備保全	○	
・ホース煮沸洗浄停止・設備撤去焼成製品課	○	



取組紹介欄

屋外湯煎設備の廃止

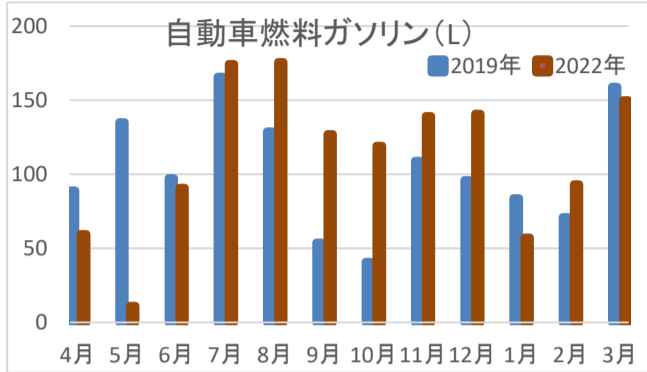


省エネ巡回で、蒸気漏れがないか巡回確認。

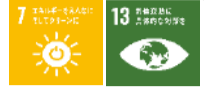


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	92,652	100,544	87,187	99,412	90,942	89,600	96,318	99,798	95,980	114,618	97,340	102,828	1,167,219
2022年	93,526	91,677	88,798	82,496	84,162	84,725	89,338	87,301	85,436	96,224	82,528	90,728	1,056,939

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	ガソリンの購入管理を行った。基準年に比べハイブリット車に変更を行ったが、コロナ過により感染防止のため移動を優先的に自動車で行った。他社との交流が活発になった。などの理由により使用量が増加。目標をクリアできなかった。今後はエコ運転の推進をおこないCO2排出量削減を行う。
・毎月のガソリン購入量管理	○	
f		

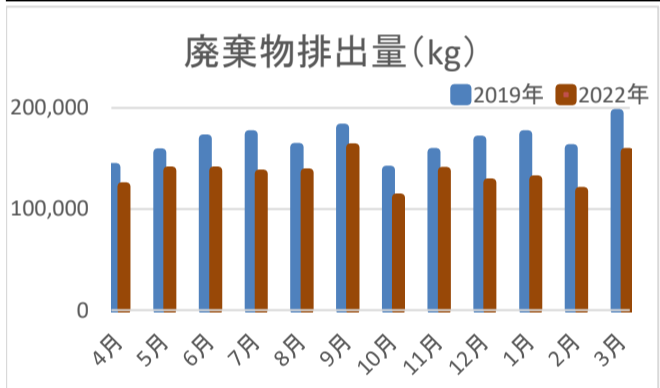


取組紹介欄



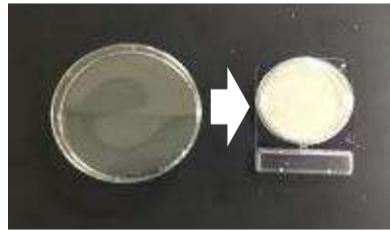
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	89	135	97	166	129	54	41	109	96	84	71	159	1,231
2022年	60	11	91	175	176	127	119	139	141	57	93	150	1,339

廃棄物総排出量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	基準年比82%を達成。分別を進めることで廃プラおよび食品廃棄物を削減することが出来た。引き続き廃プラの排出抑制・再資源化に取り組んでいく。今後も分別を強化し有価引取・リサイクルできるよう取り組む。
・分別回収の啓蒙活動	○	
・培地変更取組み	○	



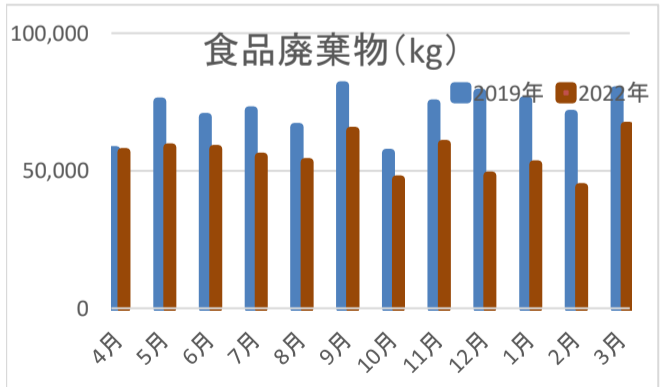
取組紹介欄

検査培地変更による廃プラ削減  
シャーレ ⇒ コンパクトドライに変更



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	141,689	156,040	169,751	173,935	161,487	180,311	139,005	156,430	168,484	174,059	160,083	194,809	1,976,083
2022年	122,459	138,321	137,993	135,209	136,279	161,016	111,571	137,615	126,463	129,189	118,056	156,603	1,610,774

食品廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	油分離機導入による惣菜揚げ油の廃棄削減。チョコレートや生地のカス排出量を抑える取組により基準年比88%を達成。年間を通じて食品廃棄物の目標値をクリアすることができた。引き続き食品廃棄物の排出抑制・再資源化に取り組んでいく。
・生地捨てBOX リターン生地・終売残削減	○	
・ロスパン 余裕数の見直し	○	
・油分分離機の導入	○	



取組紹介欄

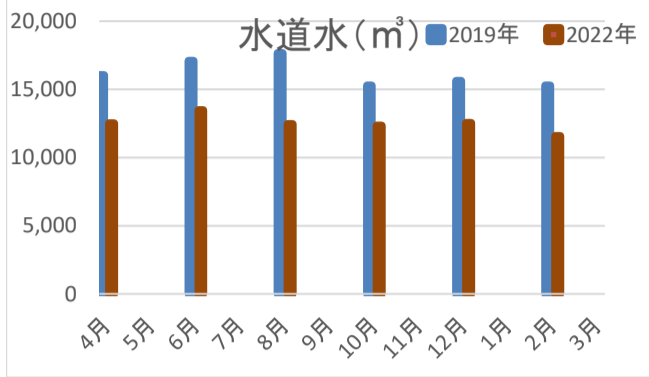
チョコレートが落下廃棄にならないよう  
道具や温度の工夫を行った。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	57,520	75,190	69,614	71,972	65,903	81,090	56,531	74,445	78,350	75,543	70,674	79,228	856,060
2022年	56,859	58,509	57,915	55,131	53,159	64,552	46,841	59,815	48,241	52,363	44,028	66,407	663,820



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	液種タンクの洗浄自動化することで無駄な水の排出を削減した。コントロール可能な使用箇所の冷生地製造課と焼成製品課二次加工で啓蒙活動を実施。使用量の目標値はクリアできた。引き続き啓蒙活動・設備の導入をおこない水使用量削減を行う。
・啓蒙活動(冷生地製造課)	○	
・啓蒙活動(二次加工(焼成製品課))	○	
・液種タンク洗浄自動化(冷生地製造課)	○	



取組紹介欄

液種タンクの洗浄自動化



啓蒙化活動の実施



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	16,060	0	17,100	0	17,657	0	15,281	0	15,630	0	15,278	0	97,006
2022年	12,504	0	13,477	0	12,446	0	12,335	0	12,541	0	11,583	0	74,886

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・代替物質の検討	○	・代替物質を検討したが、価格・容器サイズが合わなかった。 ・購入管理実施及び使用管理
・製造現場使用薬品の購入管理	○	
・使用薬品の購入管理	○	



自らが生産販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・冷生地:グループ会社による集中生産	○	冷生地で集中生産を継続実施。今後も継続的に行う。



年間活動計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
内部監査	○	焼成製品課11/22実施。5S(省エネ):1件、安全:2件指摘。 冷生地製造課3/28実施。安全:3件指摘。 法令遵守・安全確保のため、今後も継続的に行う。



## 工場取組紹介

毎月1回 近隣清掃



＜油分離機導入による廃油の削減＞



油カスに含まれる油を分離することで廃油を削減。

エコキャップ運動推進中

New **CSR活動のお知らせ**

CSR活動の一環として  
ペットボトルキャップを回収し、  
①世界の子どもにワクチン購入  
②地球温暖化の阻止  
に役立てます。

回収箱は、食堂内ペットボトル用  
ゴミ箱の並びに設置してあります

ご協力お願いいたします！

エコキャップ  
累計個数: 37324個  
(2022/1/4 時点)

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（動植物性残さ、廃プラ、汚泥、廃油等）
食品リサイクル法	食品廃棄物
プラスチック資源循環法	プラスチック産業廃棄物
騒音規制法、埼玉県生活環境保全条例	空気圧縮機、送風機
振動規制法、埼玉県生活環境保全条例	空気圧縮機
水道法	受水槽
水質汚濁法	排水処理設備
下水道法	排水処理設備
省エネ法	特定事業者
温暖化対策推進法	エネルギー使用量1500kℓ以上
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
毒物及び劇物取締法	試薬類、洗浄殺菌剤
自動車NOx・PM法	自動車
消防法	危険物保管
悪臭防止法	敷地境界、気体排出口、排水
アイドリング・ストップ	自社業務用車、駐車場利用者
顧客要求事項	HACCPによる衛生管理、環境マネジメントシステムの運用

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□外部からの環境上の苦情・要請等**

環境上の苦情・要請は発生しておりません

**□緊急事態対応の試行・訓練**

<b>緊急事態の想定： 火災の発生</b>	
■実施日： 2022年10月21日	■実施場所： 本社・越谷工場
■参加者： 出勤者全員	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 ・応急救護訓練 ・安全防护訓練	
■評価： 避難指示放送から点呼確認まで4分11秒であった。初期消火訓練は18名が参加。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

<b>緊急事態の想定： 油流出事故の発生</b>	
■実施日： 2023年2月23日	■実施場所： ドーナツフライヤー室
■参加者： 合計7名 社員・従業員（油取扱従事者）	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 初期対応訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 ・流出事故対応、通報訓練	
■評価： 目的および作業方法について理解が得られた。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	



## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年9月18日

従業員全員参加の取り組みにより二酸化炭素総排出量削減及び廃棄物総排出量削減、水道水の削減の目標は達成できた。

二酸化炭素排出量の削減については、コンプレッサー圧力の設定変更、屋外煮沸洗浄設備の撤去など設備的な要因と省エネ巡回、ミーティングによる周知などを行ったことでの従業員の環境に対する意識の変化により目標達成につながった。廃棄物排出量の削減でも油分離機の導入などの設備面と製造現場の工夫により結果が出ている。水の削減は液種タンクの自動化と啓蒙活動により削減目標を達成できた。

来年度は基準年比よりも今年度実績に基づいて目標を設定してください。  
ハード面、ソフト面にこだわらずみんなでアイデアを出しあい、小さい取り組みの集まりから大きな成果となるよう推進してください。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	

## □これまでの環境活動の紹介

